



2024年4月20日発行
 発行人：森田義彦
 編集人：阪田祥章
 公益財団法人 日本YMCA同盟
 国際青少年センター 東山荘
 〒412-0024
 静岡県御殿場市東山1052
 Tel 0550-83-1133
 Fax 0550-83-1138
 www.ymcajapan.org/tozanso
 (題字は故北村徳太郎氏)

東山花大より

[YMCA東山荘は創立109年]



今年は開花が遅かった春告げ花のキクザキイチゲ（4月13日、クラフトルーム付近にて）

「喜ぶ人と共に喜びます。」

泣く人と共に泣きます”

これはローマの信徒への手紙12章15節の聖句からの言葉です。日本YMCA同盟、YMCA東山荘の2024年度の基本聖句です。4月からYMCA東山荘はこの聖句の示していることを大切にして新しい歩みを始めます。聖句では「喜び、泣きなさい」となっていますが「喜びます。泣きます」としたのは覚悟の気持ちです。レイパーソンや利用者の方たち、地域の皆さん、多くの人々からのお支えは私たち職員を勇気づけ、顔を上げ、前を向くことに繋がりました。東山荘の継続的な運営、活動がお支えに応えることです。「親しき友は喜びを2倍にし、悲しみを半減させる」と言われます。喜びや悲しみを共有してくれる人の存在はありがたいものです。皆様にとりまして、東山荘がそのような存在になれる様に努力し活動します。

今年度の計画の第一はコロナ禍で厳しくなった経済状況からの回復です。幸いにも2023年度は約2万9千名様にご利用いただきました。もう一歩です。気持ち良くご利用いただくための改修も行う予定です。Vision 2030で示された内容を具体的な活動として着手することも計画の一つです。特に環境に優しい施設を意識して2024年度は活動します。また地域との協働も計画しました。一歩ずつ歩みます。

黙想館から見る富士山は雄大で、呑みこまれそうな雰囲気があります。日によって大きさの違いを感じますが、何時も変わらぬ姿を見せてくれます。こちらの気持ち次第で「しっかりしろよ」、「次があるよ」、「大丈夫だよ」と言ってくれているようです。富士山が何時も見ていてくれ、共に喜び、悲しんでくれると思えば、2024年度をスタートします。

富士山

が見ている

12

YMCA東山荘所長
 森田 義彦

東山荘と私

川田 殖



川田殖（かわだしげる）
一九三二年網走市に生まれる。一九五七年ICU卒業、一九六二年京都大学博士課程修了、ICU助教授（哲学・西洋古典学）、大阪医科大学準教授（哲学・古典語）、山梨医科大学教授（哲学・倫理学）、恵泉女子学園園長、日本聾話学校校長を歴任。訳書『コイレ』『プラトン』、ロイド『アリストテレス』（以上みすず書房）、ティベリウス『イエス』、ブルンナー『キリスト教と文明の諸問題』（以上新教出版社）、ロイド『古代の世界 現代の省察』（岩波書店）等。著書『川田殖講演集』三冊（信州教育出版社）等。編集『ブルンナー著作集』（教文館）、『神田盾夫著作集』（みすず書房）等。

聖書の真理を中心にした

出会いと対話の場

私の親友の一人に茅野徹郎（ちのてつお）さんがいる。彼は昨（二〇二三）年正月亡くなったが、私の胸には生きています。彼は山梨ハイヤーのメンバー出身で、創立期の国際基督教大学（ICU）で出会った。私はそこで湯浅八郎（ゆあさ）・神田盾夫（かみかみ）先生にお世話になったが、それに劣らぬ影響を受けたのは彼らキリスト者学生で、やがて、教会に行くようになった。学校の性質上、多くのキリスト教行事があり、大きなものは幾度か東山荘で行われた。そこで味わった、自然の美しさ、食事の美味しさ、スタッフの親切さ、時間の自由さ、施設の便利さの魅力は抜群で、会場が東山荘と聞くだけでもわくわくし

たものだ。そして、そのような東山荘での出会いと対話、交わりが、私の人間形成の核となった。

卒業後、茅野君は東京で実業界に入り、私は京都で哲学を学び始め、頻繁な往来は難しくな



グラウンドで余暇を楽しむ青年たち（1950年代）。背後には木造時代の本館が見える。（東山荘提供写真）

ったが、彼が日本にいる時は年に一度、他の親友たちと食事を共にした。彼はやがて、アメリカホンダの社長として、抜群の業績をあげた。その中でも、たとえば、YMCAのニパム運動（National Youth Project using Mini-Bike）、つまりバイク好きの子どもたちの不登校対策に協力して、何千台という全米規模の要請に応えて、社内に組織をつくり、みごとに実現した結果、大統領からも、アメリカYMCAからも感謝表彰された。まさに彼のクリスチャンとしての面目躍如だった。また勇退後の三十年は、社会奉仕と人間育成に力を注ぎ、母校や郷土のためにも、物心両面、清里にある研修所の存続にも力も注ぎ、東山荘をも含めた全国YMCAの運営にも参与された。私などもその恩沢に与かり、東山荘に幾度もお世話になってきた。

私の若い友人の一人に阪田祥章君がいる。彼は大学でギリシア哲学を専攻した人だが、御殿場ゆかりの神田先生の「ペディアヴィウム会」で知り合い、以来親しい交わりが続いている。このたび、彼から『東山荘だより』への寄稿依頼があり、あわせて『東山荘百年の歩み』と『東山荘だより』バックナンバー綴りを見せていただいた。これによって彼がかつての東山荘所長震一さんのご子息であることを知った。

方ならぬお世話になった。この先生がたが日本基督教会の先達植村正久の系統であることはいうまでもない。また前述の神田先生や京都の奥田成孝（しげたか）先生は内村鑑三の系統で、そのおかげで私は植村・内村両先生の影響のもとに育てられたことになる。のみならず、ICUの初代学長湯浅八郎先生は新島襄（しんじま）の直系であって、これらを合わせれば日本プロテスタントの三大源流といわれる横浜・札幌・熊本三バンドの統合体につながるようになる。加えて、私がICUで大きな影響を受けたエーミル・ブルンナー先生が一九四九年九月末、最初に来日し、講演の準備をすべく一週間滞在されたのがほかならぬ東山荘であったこと、そして、何よりICUの創立総会とでもいふべき御殿場会議（一九四九・六・十三―一六）の場が東山荘であったことに今

さらながら驚くばかりである。

四

以上は阪田さん提供の資料から学んだキリスト教と私とのつながりであるが、この資料自体がとりも直さず東山荘の大きな働きの証拠である。聖書の真理を中心にした出会いと対話の場を、最初に記した魅力とともに提供してくれるのが東山荘であり、そこで育てられた交わりの成果は、茅野君のように、人の予想をはるかに超えて大きな稔りを生み出す。上に見た人びとは言わずもがな、私のうちにもそれは確認される。その大きな役割を今も変わらず東山荘は担っていると思う。

創業百年を超えた東山荘とその背後にあってそれを支え活用したYMCAの将来の展望は、『百年の歩み』の結びに明示されていて、私がつけ加えることはない。

そこに言われているように、東山荘は、青春すなわち心の若さを生きる人びとの聖地として、美しい自然の中で、(一) 出会いと対話を通して他者の意義、超越者(神)とその恵みを知り、祈りのうちに自己革新の

力を得る「人生を哲学する場」であり、(二) 円満な人格形成を目ざして全身で学習する「全人教育の場」であり、(三) 地の塩、世の光として、人に仕えながら人を育て、正義と平和の世界の一致を目ざす「リーダーを育てる場」であるべきである。

諸事混沌として先行き不明に見える時代の中でも、不変の理念を実行する意義と使命はいつも重い。ことに地域や域外の一般の人びとに解放され、この理念に心を開く機会を提供する東山荘は、他の宿泊施設にはない大きな意義がある。そのためにもスタッフの果たす役割は大きく、たとえば阪田君のように、聖書を原語で読める人が、その心で人に仕え育てること、大きな意義を持つだろう。将来にわたって重要な意義を持つ東山荘に神の祝福を祈ってやまない。

(二〇二四・四)



【編集者より】

この度、「東山荘と私」のご執筆を川田殖先生にお願いしました。先生には学生時代以来、公私ともに大変お世話になっておりますが、その中で先生が東山荘と深い関りをお持ちであることを知り、今回ご寄稿をお願いした次第です。東山荘が実に多くのの方々のお働きと祈りによりこ

れまで存続してきたことに改めて気付かされると同時に、担うべき使命の重さと崇高さに襟を正される思いです。変転するこの世にあってYMCA東山荘がこれからも不変の理念の下に「出会いと対話の場」であり続けるよう努めてまいります。なお、茅野徹郎さんにつきましては、かつて東京YMCAで行われた

インタビュー記事がウェブ上でご覧になれます (https://tokyo.ymca.or.jp/about/interview_chino.html)。また、東山荘で行われたICU御殿場会議についても詳細がICUアーカイブスによりウェブ上で公開されています (https://www.lib.icu.ac.jp/Archives/Gotem-bakaigi/index.htm)。

2024年度 YMCA東山荘事業方針・計画

『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい』

(ローマ信徒への手紙12章15節)

2020年に始まったコロナ禍はなお完全な終息を見ていませんが、私たちは世界とともに共存の歩みを模索しながら進み、社会的な経済活動も徐々に活発化してきました。多くの方々のお支えにより利用者はコロナ禍前に近づきつつあります。YMCA東山荘は「国際青少年センター」としての使命を堅持しつつ、2024年度は主として下記の事業計画を進めてゆく所存です。

①経済的基盤の確立

コロナ禍から徐々に回復していることに感謝しつつ利用者数の確保に努め、経営安定化の年間30,000人代を目標に、野外プログラムの整備に伴い新たな学校団体等の勧誘や再開してきた企業研修の誘致を進めていきます。

②YMCA Vision 2030 (2022年夏に採択された世界のYMCAの共通目標) の具現化

職員タスクチームを立ち上げ、各課題の解決に向けた一歩を進めます。

- 1) Sustainable Planet: 荘内の豊かな自然体系を維持すると同時に、将来において環境にやさしい、ゼロエネルギー施設を目指します。
- 2) Community Wellbeing: 行政や地域福祉施設等をはじめとする他団体との協力・協働を継続し、より良い地域社会の育成に参与します。
- 3) Meaningful Work: YMCAプラットフォーム事業への参画やタスクチームでの活動を通して、やりがいのある仕事を創造します。
- 4) Just World: 行政や地域の学校等との連携を深め、公平な社会・世界の実現に努めます。

③リニューアルプランの作成と施設改修

109年目を迎えるYMCA東山荘は施設の老朽化が進み、大きな転換期を迎えています。東山荘の使命を再認識し、周年事業も含めて長期的な展望をもって施設のリニューアルに取り組んでまいります。

【2024年度予約状況】“かけがえのない時間”をYMCA東山荘で――

5月～6月 5・6号館混んでいます。1・2号館は比較的空いています。

7月～8月 全館混んでいます。8月下旬は比較的空きがあります。

9月～10月 5・6号館空いている日があります。1・2号館は空きが多いです。

11月～3月 全体的にすいていておススメです (秋は紅葉が、冬は富士山が美しく見えます)。

以上はおおよその目安です。宿泊・日帰り、また個人様・団体様を問わず、ぜひ一度、お問い合わせください。ネイチャープログラムご希望の方もお気軽にお問い合わせください。

感謝ご報告

Y M C A 東山荘チャリティーゴルフ収益
により子どもたちを招待
チャリティーデイキャンプ開催

2024年3月23日土曜日、小雨の降る寒い日でしたが、御殿場市内のふじさん教室（他国にルーツのある子どもたちが通う学習教室）の子どもたち29人を招待し日帰りキャンプを開催することができました。

教室までバスで迎えに行き、Y M C A 東山荘についてからオリエンテーションとグループ分け、リーダーの紹介を行い、カレー作りをしました。どのグループも年齢差がありキャプテンを決めてまとめてもらいました。初めての野菜の皮むき、カットを経験した子どもたちも多かったです。

肉を炒め、野菜を煮込んでいる間に東山荘スタッフのかなやんリーダーによるゲームを楽しみ、体も温まったところでテーブルに戻って東山荘オリジナルカレーを入れて準備完了。ご飯をよそい、自分たちで作ったカレーをいただきました。おかわりが続出し、他のグループのカレーも味見しながら、自分たちのグループが一番おいしいと全員が思っていたことと思います。



グループでカレー作りに挑戦。

かなやんリーダー特製のお菓子ボックスのプレゼント。負けた全員にもお菓子のプレゼントを差し上げました。

最後は楽しかった思い出を言いたいお友達から話してもらい、ボランティアリーダーやスタッフからも思い出を述べてバスで教室へ戻りました。

今回のデイキャンプは、第9回Y M C A 東山荘チャリティーゴルフのチャリティーフィーでの開催となりました。ゴルフにご参加いただいた皆様ありがとうございました。

初めての試みで改善すべき点もありましたが、子どもたちの笑顔とお礼の言葉に、対応したボランティア、スタッフ一同安堵し、大変嬉しくなりました。また開催にあたり、御殿場ワイズメンズクラブにはリーダー

としてお手伝いいただき、令和レストラッシュステムズ様には材料の準備と補助をいただきました。ありがとうございました。

今秋開催予定のチャリティーゴルフにも多くの方々にご参加いただき、活動を継続していきたくと願っています。

職員レポート

【能登半島地震】

1.5次避難所支援に携わって

Y M C A 東山荘職員 小林加奈

2024年2月18日〜21日まで、金沢市の1.5次避難所に補助スタッフとして行ってまいりました。1.5次避難所は被災地にある避難所の過密を解消し、2次避難所とのマッチング機能を持たせた新しい形の避難所です。

Y M C A は内閣府からの要請を受け、立ち上げ当初より関わりを持っていきます。

私が派遣された時期は、震災から約1か月半の時が経ち、これから徐々に避難所の規模を縮小して「終わり」に向かっていくフェーズの、その第一歩を踏み出そうとしていた時でした。

県外から派遣される支援者の人数が段階的に減少していく中、避難者の生活をどう維持していくのか。自治体と支援者それぞれの声に耳を傾け、アイデアを出し合い、よりよい運営体制を築く手助けをする事がY M C A の役割でした。私自身も支援者団体、避難者、県の職員など

多くの方と言葉を交わしつつ、自分に何ができるのか悩みながらも充実した日々を過ごしました。

立ち上げ直後から長期に渡り携わっている元神戸Y M C A 職員の松田さんのおっしゃっていた言葉が、今も鮮明に思い出されます。「被災者も、支援者も、ハッピーに」。このマインドこそがY M C A であり、必要とされている理由だと感じました。微力ではありますが、私もお力



金沢市の1.5次避難所の様子。

なお、経費を差し引いた残り5万円を能登半島震災募金に捧げましたことを申し添えます。
(滝口)

になれていたら幸いです。
震災発生から約3か月が経つ現在も、被災地の状況は芳しくありません。多くの方が今もお、被災地支援に尽力し、被災者の方々に支えておられます。支援者の方々の安全と健康をお祈りするとともに、被災者の皆さまに一日も早く安寧の日々が訪れることを切に願っております。

■今後の予定

「1.5次避難所」は運営体制が落ち着いてきたため、YMCAはその役を石川県に引継ぎ、4月以降は輪島市の避難所に注力してまいります。また富山県内に避難された方々に、富山YMCAが行う子どもクラスへの参加費助成、およびサマーキャンプや心のケアなどプログラムを提供予定です。

■募金のお願い

2024年3月31日まで第1次募金を行いました。4月1日から第2次募金を開始しています（6月30日まで）。引き続き多くの皆様のご支援をお願い致します。募金方法など詳細は6頁をご覧ください。なお、これまでに個人・団体様より総額3000万円近い募金を頂きました。心より御礼申し上げます。



主催プログラムご報告

ネイチャー プログラム

◎冬のごも自然キャンプ

2月23日(金)〜25日(日)2泊3日
 気候変動の影響で富士山中腹でも雪がすっかり降らなくなり、キャンプ期間中に当たる3日間は奇しくも寒雪が入り込み、待望・念願の積雪がありました。そこで1日目午後と3日目は富士山中腹の森に出かけ、東山荘オリジナル「さるポード」を心行くまで楽しみました。2日目はポカポカ陽気の中、御殿場市内から裾野へ流れる久保川をたどるプチ遠足に出かけました。

◎春休みごも遠足キャンプ

3月24日(日)〜26日(火)2泊3日
 「歩く旅」の楽しさを仲間と分かち合う「遠足キャンプ」シリーズ。今回のキャンプでは天城に源を発する狩野川を河口の駿河湾までたどる全長約50kmの旅に出かけました。天候はほとんど雨でしたが、温泉地で足湯に立ち寄りたり、わざわざ吊り橋を渡ったりと寄り道もたくさん。夜、東山荘ではナラ枯れで伐採したコナラの丸太を使い、シイタケの菌打ち作業をしたり、

キャンプ最後には感謝を込めて6年生卒業式も開催しました。



キャンプ2日目、足湯に立ち寄りエネルギーチャージ!

森のレストラン 桜ランチビュッフェ

4月6日(土)は毎年恒例「森のレストラン」特別版『桜ランチビュッフェ』を開催しました。今回から二部制および一部事前予約制を導入しました。天気も良く、桜も五分〜八分咲きとなったため、総勢百名を超える方々にご来荘いただきました。ありがとうございます。



東山荘の大枝垂れ桜は今年も元気に花を咲かせてくれました。



今後のプログラムご案内

ネイチャー プログラム

【参加者募集中!】

◎春のごも自然キャンプ

5月3日(金)〜6日(月)3泊4日
 参加費…30,000円

対象…小中高生

他では味わうことのできない特別なゴールデンウィークを東山荘で。1日目と2日目は黄瀬川をたどる歩く旅に出かけ、3日目は御坂山地最高峰・黒岳登頂に挑戦します。4日目は水の都・三島の知られざる魅力を訪ねるとっておきの散策をする予定です。

【予告】

以下のプログラムは日程の告知です。募集はまだ行っていません。内容は予告なく変更することがあります。

◎ごも完全富士登山キャンプ

7月13日(土)〜15日(月)2泊3日
 8月6日(火)〜9日(金)3泊4日
 参加費…未定

対象…小中高生

今夏の「ごも富士登山」は海拔0mからの富士山登頂を目指します。行程が長大となるため内容を7月と8月の2回に分



季節の一品

Seasonal Recipes

グリーンピースの煮込み フランス風



えんどう豆の美味しい季節です。他、好みの豆でも試してみてください。



食堂店長・料理長
長田 尚弥

材料 (4人前)

- 玉葱 60g
- バター 20g
- ベーコン 60g
- チキンブイヨン 200cc
- レタス 1/2 個
- グリーンピース 160g
- 小麦粉 大匙 1 杯
- 砂糖 20g
- 塩・胡椒 適量

1. 玉葱はスライス、ベーコンは5mm幅、レタスは大きめのざく切り、グリーンピースは生なら硬めに茹でておく。
2. 鍋にバターを熱し、玉葱を中火で炒める。しんなりしてきたらベーコンを加えて炒め、小麦粉を振り入れて炒める。
3. チキンブイヨンを注いで、レタス、砂糖を加え、弱火で3分位煮る。レタスがクタクタしたらグリーンピースを加えて煮込み、塩・胡椒で味を調え、深さのある皿に盛り付ける。

◎のんびり楽しく富士山登頂
 8月12日(月)〜15日(木)3泊4日
 け、両方に参加することが原則となります。この夏、東山荘でしかできない特別な富士登山キャンプです。

参加費…未定
 対象…どなたでも
 今年で28回目となる当プログラムは、年齢や体力面で不安な方や、お一人で参加の方も、みんながそろって、楽しく、安全に登山できるよう、経験豊富なスタッフが登山装備の準備段階からサポートします。大家族のような和気あいあい登山を楽しみましょう。

野木千賀世さんに聞いてみた

今までの働きに感謝して退職者インタビュー

Q1 東山荘に入ったきっかけは？

子どもの頃に水泳教室に通っていたから東山荘はよく知っていて（水泳よりもリーダーのゲームが面白かった笑）、横浜YMCAの専門学校にいたときも研修でよく東山荘に来ていたので、採用試験を受けたら運よく受けました笑。

Q2 結婚・出産後も仕事を続けたのは野木さんが最初とか・・・

私より前はみんな寿退社だったけど、そういう時代の流れというのもありました。【同僚職員「野木さんが先駆けとなってくれたので、後続の女性職員の励みとなった！感謝です！】



野木さん(左)。会計業務は横山さん(右)が引き継ぎます。

Q3 一番の思い出は？

研修でバングラディッシュに行かせてもらい価値観の違いに驚いたこと。幸せはお金とかではないと実感しました。海外研修に行かせてもらえるのも東山荘の良いところですね。あと昔は企業研修もスケールが大きくて、駐車場に自分たちで仮設の建物を建てて研修する企業もあったり、お客様から職員が接遇の指導を受けることもしばしばで、緊張して背筋がピシツとなりました笑。

Q4 これからの東山荘に一言。

みんな元気で頑張ってください。青少年団体としてこれからも『やさしさ』や『導き』がある場所だといいですね。

＊野木さんは勤続40年の大ベテランでした。4月以降も（出勤回数は少なくなりますが）非常勤職員として引き続きお支えいただけます。

東山荘ひと口NEWS

道路灯がすべてLEDに

荘内の道路灯をすべてLED灯に交換しました。LED化により経済的にも環境的にも負担が軽くなり、持続可能な東山荘に一步近づいたと思います。

1号館大浴場より快適に

1号館内の大浴場（E・F浴室）の改修を行い、浴室換気扇の取り換えや脱衣所のエアコン設置、一部リフォーム等を行いました。大きなお風呂でゆっくり疲れをお取りください。

新入スタッフ多数

東山荘も新たなスタッフを多く迎え、賑やかな春となりました。今後紙面で紹介をしていきたいと思えます。慣れないことが多いと思いますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【日本YMCA同盟から】
ウクライナ避難者支援 近況
～入園・入学おめでとう～

日本で3度目の春を迎えるウクライナの避難者たち。苦節を経ながらも子どもたちは成長しています。支援活動が続いているYMCAスタッフが、それぞれの入学式に参列してきました。

アリサは4歳の時に母と来日。当初は保育園にもなじみず休みがちでしたが、先生方や地域のお母さんたちの協力もあり、立派な小学一年生になりました。現在は祖母と二人暮らし。日本語も話せるようになり、祖母の「小さな通訳」役もこなしています。ランドセルはYMCA国際協力募金から贈られ、大切にしています。



ロベルトは17歳の時に一人で来日避難。19歳になりましたが、これから日本で宇宙工学を勉強してJAXAに就職する夢を持ち、高校から入り直すことを決めました。「いまは勉強できることがうれしい。世界のこと、将来のこと。深い話ができる友だちがほしい。」と抱負を語っています。



引き続きご支援ご協力をお願いします。(募金は右のQRコードから)
(日本YMCA同盟HPより転載)



【感謝】

YMCA東山荘友の会募金ご報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

116件 1,624,400円

YMCA東山荘友の会募金にご協力をいただきありがとうございます。2024年度も、キャンプリダーの滞在費の他に施設環境を整えるために活用させていただきます。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

「YMCA東山荘友の会募金」とは・・・

YMCA東山荘がこれからも、子どもたちや青少年の出会いと学びの場所として魅力あふれる場所であり続けられるように、より充実したプログラムや施設、環境を整えていくための資金を「YMCA東山荘友の会募金」として募っております。ぜひ多くの方のご賛同とご協力いただきたくお願ひ申し上げます。

＊郵便振替

00800-6-66931 公益財団法人日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘
＊東山荘ホームページやフロントでお支払いいただくこともできます。
＊公益財団法人日本YMCA同盟への寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。

【能登半島地震】YMCA緊急支援募金

◆募金使途:

- ・輪島市指定避難所の運営支援
- ・富山県内に避難された方々への支援

◆募金方法:

- ①各YMCAの窓口へ直接お持ちください。
- ②郵貯振替: 日本YMCA同盟災害支援募金口座番号: 00130-4-696497
・「2024能登半島」とご記載ください。
- ③銀行振込/クレジットカード:
右のQRコードから専用ページへ。



お問い合わせ・お申込み

資料の請求はこちらまで

YMCA東山荘

〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052

TEL 0550-83-1133 FAX 0550-83-1138

E-mail: tozanso@japanymca.org

ホームページ www.ymcajapan.org/tozanso

【編集後記】今年には様々な花が一斉に咲き春が一気にやってきたような賑やかさでした。学校のオリエンテーションキャンプ等も少しずつ戻り、あちらこちらで元気な声が飛び交いました。「東山荘だより」も東山荘の今をお届けできるようにさらに創意工夫を重ねたいと思えます。よろしくお願ひします。(MS)